



海の美しさ 手彩入シクレー版画 20F

マークエステル・スクアルシャフィキ
MARCESTEL SQUARCIAFICHI



1943 パリ生まれ。その後、南仏コートダジュールのエズで両親が経営する「バナノレイホテル」に移り住む。



1950 フランスのホテル協会会長である父が経営の「カップエステルホテル」に移住し、7歳から50年過ごす。ホテルには世界の著名人が訪れ、若き日の彼の感性を磨いた。近くに住んでいたシャガールは「君は絵描きに向いている。是非画家になったら良い」と勧めた。



1960 パリ大学経済学部で経済学学士号を取得後、ボザール美術学校とカモンド美術館で学ぶ

1968 ラオス・フランス大使館勤務。翌年、モーリス・シューマン外務大臣の秘書となる。

1970 大阪万博に訪れた際、清水寺の水墨画の滲みの美しさに感銘を受け、画家に転身。岡本太郎氏との交流が始まる。



1981 来日を希望されていたモナコ公国のグレース王妃を神戸ポートピア博覧会に案内する。チャーリー・チャップリン、カラヤン、ザ・ビートルズ、ケネディ家、ボンビドゥー家、デヴィッド・ロックフェラー等と交流を深める。

1987 アフリカ、及びアジアの子供達の支援を始める
現在、トーゴ、ブルキナファソ等で4つの学校を運営

1989 ソニーの盛田会長の好意により銀座ソニービル全館を使用し個展を開催
東京渋谷の東急文化村のオープニング企画として個展を開催



1996 伊勢神宮、出羽三山神社より作品奉納の依頼を受けたことを機に全国の神社への奉納を決意。

2006 「日本神話 by MARCESTEL」を七か国語で出版。翌年、神道文化会より文化奨励賞を受賞。

2008 上野の森美術館にて個展。北京の坦博美術館に常設スペースオープン。

2009 南仏 RETIF 美術館オープニング企画に出展

2010 上海万博にアートディレクターとして参画

2011 三浦美術館（松山）にて個展。作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻 ～むすび～」を開催（サンポートホール高松）

2012 作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻 ～えひめ～」を開催（ひめぎんホール）

2013 「出雲大社『平成の大遷宮』奉祝奉納公演 絵と音と舞のコンサート～出雲に捧ぐ～」に作品映像提供（出雲大社 東神苑 特設ステージ）

2014 下村文部科学大臣より「文化関係者文部科学大臣表彰」を受賞

2015 九州国立博物館、横浜市大倉山記念館、さいたま市文化センター、クリエート浜松、あわぎんホールにて個展



2016 大東市立総合文化センター、高松シンボルタワー展示場、クリエート浜松にて個展
2010年より銀座アートホールにて毎年個展

パリ、ニューヨーク、ロンドン、ヨハネスブルク、シンガポール、北京、上海等、国内外にて個展多数。サロン・ドートンヌ アジア代表。

表紙絵 / 森の中の天使のダンス 型染シルク到手彩 86×86



マークエステル展
2016 12/2 [金] ▶ 4 [日] 10:30 ~ 20:00
アクロス福岡 2F 交流ギャラリー
主催:株式会社H & T 協力:ジュエルマツウラ

芸術家は魔術師であり、限りなく多様な色彩を自由に組み合わせることが出来る。自然は、日々折々異なった色を帯びながら、刻一刻変化する色彩の調和、その語りかける言葉や表現など、作品の成功のために欠かすことのできない要素のように思える。その時の気分や感情によって、最も落ち着いた柔らかな色を選ぶか、あるいは最も生き生きとした鮮やかな色彩を使うか、いずれにするかには、本当に胸を躍らせるものがある。(中略)

絵を観る人々がイメージを通して自身の夢を感じることが出来るように、穏やかで冷静な雰囲気を保つよう心がけている。それによって、無意識の深淵から思い出が噴出し、過去の感動が観る人自身のイメージとなるだろう。(画集「自然と愛」より抜粋)



マークエステル
Marc Estel

会場 / アクロス福岡 2F 交流ギャラリー
福岡市中央区天神 1-1-1 TEL.092-725-9111

地下鉄: 空港線「天神駅 16番出口」より徒歩3分
七隈線「天神南駅 5番出口」より徒歩3分

バス: 「市役所北口」より徒歩0分
「天神4丁目」より徒歩3分
「中央郵便局前」より徒歩5分

駐車場: 最初の1時間 400円 / 以降30分毎 200円
営業時間 7:00 ~ 22:30 入口は建物西側にございます

主催 / 株式会社H & T TEL.03-6407-4343
東京都世田谷区代田 6-6-9-2B
http://h-a-t.jp E-mail/info@h-a-t.jp

協力 / ジュエルマツウラ

展示会に関するお問い合わせは、株式会社H & Tまで



マークエステル展

全日程作家来場

2016 12/2(金) - 4(日)

10:30 ~ 20:00



小鳥を伴う女神 型染シルク到手彩 86×86

日本の精神文化をこよなく愛し、日本神話「古事記」のテーマをライフワークとして描くフランス人画家マークエステル。氏は、1970年の初来日の際、京都の清水寺で水墨画の「滲み」の美しさに感銘を受け、外交官から画家へと転身しました。1996年に伊勢神宮より依頼を受けたことを機に始まった神社への作品奉納は、全国167社、九州では46社を数えます。

この度、九州の皆様マークエステルの新旧代表作を御覧いただきたく、アクロス福岡にて個展を開催する運びとなりました。日本神話「古事記」、花東など様々なテーマの油彩画や、ブロンズ、ガラス工芸品、ジクレー版画等、約100点を一堂に展示いたしますので、是非ともこの機会にご高覧ください。

株式会社H & T 代表 濱崎佐知子



私たちに心に溢れる愛と希望 油彩 80 F



山佐知毘古は釣針を作る 油彩 40 F



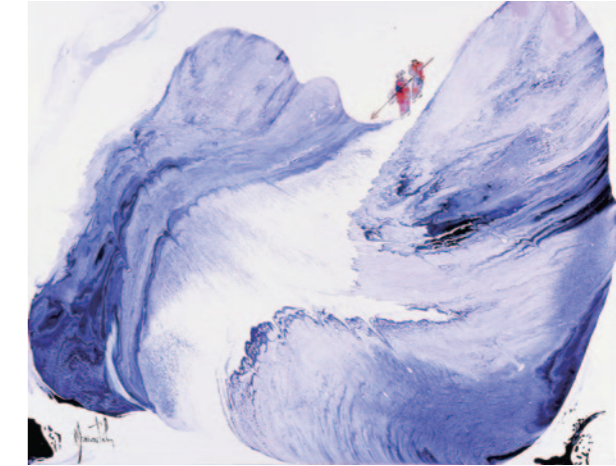
天岩戸を開く手力男神 油彩 12 F



伊邪那岐命の禊と三貴子の誕生 手彩入ジクレー版画 38.0×45.3
高千穂神社奉納作品



天宇受売命の平和の愛の踊り
手彩入ジクレー版画 44.8×38.0
天河大辨財天社奉納作品



地に降る 手彩入ジクレー版画 20 F



美しさに輝く須勢理毘売
手彩入ジクレー版画 20 F



手彩入ジクレー版画とは
ジクレーとはフランス語で「吹き付けて着色する」という意味で、
現在では高密度デジタル出力の総称として使われています。
ジクレー版画の上にマークエステル本人が、丹念に手彩を施し、
サインとエディション、捺印をして完成となります。



清々しいベニス 油彩 10 F



マークエステルが1950年から2000年まで
過ごしたホテル「カップエステル」はイタリア
語で「星の岬」を意味する。フランスホテル協
会の会長である父が経営するこのホテルは、
ニースとモンテカルロの間に位置し、壮大な
庭園とそれに続く深い紺碧の地中海が混ざり
合う格別美しい景観で、訪れる世界の要人
達を魅了した。
ホテル「カップエステル」は彼の芸術にインス
ピレーションを与える密かな源泉であり、将来
芸術家になる導きとなった。



空からの花 油彩 15 F



幸せの始まり 油彩 12 F



愛の響き 手彩入ジクレー版画 20 F



太陽が与える愛 手彩入ジクレー版画 20 F



流れる愛の沢 ガラス工芸品 43×16×32.5



自然の凱旋
ガラス工芸品 22×23×22.5



海の愛情
ガラス工芸品 20.5×14×26.3